

OSIFA

大網白里市国際交流協会

OamiShirasato International Friendship Association



つばさ 24

July 2020

## CONTENTS

頁	
01	ご挨拶 会長 田村 隆文
02	令和2年度協会役員名簿 新任理事紹介
03	令和2年度新任役員紹介
04	令和2年度行政提案型住民 協働事業について
05	令和2年度事業計画
06	令和元年度実施事業
07	叙勲 田村隆文会長 語学講座案内
08	会員募集・協会案内 編集後記



発行 大網白里市国際交流協会  
事務局 大網白里市教育委員会  
生涯学習課内

☎ 0475 (70) 0380

Fax 0475 (72) 9115

URL : <http://osifa.jimdo.com>

## ご挨拶

大網白里市国際交流協会  
会長 田村 隆文



このたびの新型コロナウイルスに罹患された皆様、感染拡大により生活に影響を受けている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

また、日夜国民の為活動を続けられている医療従事者、仕事を続けられている方々には、心から感謝申し上げます。

現在、わが国を含む世界各国は、未知の新型コロナウイルス感染症の拡大という難局に直面しており、国は「緊急事態宣言」を4月6日（月）に発令して、5月25日（月）に解除しましたが、引き続き、指導、指針を発令しております。私達の協会も、事業の運営にあたっては、本年3月から全ての事業を中止して新型コロナウイルスの感染防止・拡大抑制のために努めており、「緊急事態宣言」の解除に伴って7月からたのしい日本語教室を開催する事となりましたが、開催にあたっては、国の指導に基づいた「新しい生活」指針により、3密にならないように、マスク、消毒の徹底を図りながら、事業の運営を進めて参りたいと思っております。

また、本年5月24日（日）に予定していた第27回大網白里市国際交流協会総会は書面での決議とし、第1号議案から第7号議案まで、全ての議案について過半数の賛成をもって可決されました。会員の皆様にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今後の事業計画としては、7月から「たのしい日本語教室」を開催し、9月から新しく「行政提案型協働事業」として「日本語教室委員会」が運営する事になりました日本語支援Sクラス、及びMクラスの開講を予定しております。また、同委員会が運営するグローバルカフェの再開については、その目的が、「人と人との交流」となりますので本市の指導指針に基づいて関係者と綿密な調整がされますが、協会としても「行政提案型協働事業」を全面的に支援して参りたいと思っております。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症が、各方面に影響を及ぼしてきており、安全で安心な私達の毎日の生活が脅かされてきているのを感じずにはられません。一刻も早く、この事態が収束に向かうことを願っております。

## <令和2年度協会役員名簿>

2020（令和2年）年度は、4名の理事が退任し、総会（書面決議）にて4名の新理事が選任されました。

役職	氏名	担当委員会
会長	田村 隆文	多文化共生委員長
副会長	古内 早苗	研修委員長、多文化共生副委員長
副会長	橋本 聡二	交流委員長、広報委員長代行、多文化共生副委員長
副会長	平井 杏	たのしい日本語教室委員長、交流副委員長
専務理事	福島 一昭	多文化共生副委員長、グローバルカフェ代表
理事	村中 正子	会計、交流副委員長
理事	永野 和子	交流副委員長、多文化共生委員
理事	郭 素霞	交流副委員長、多文化共生委員
理事	西川 正晃	会計、たのしい日本語教室委員
理事	井上千代子	研修委員
理事	Shelley Chua	多文化共生委員、交流委員
理事	安平 幸博	多文化共生委員、たのしい日本語教室委員
理事	佐川真理亜	交流委員
理事	江間 寛子	多文化共生委員、グローバルカフェ共同店長
理事	小寺 葉子	多文化共生委員、グローバルカフェ共同店長
理事	小笠原 資子	研修委員
理事	鈴木 百合子	たのしい日本語教室副委員長
監事	八角 榮子	
監事	小山田光成	広報委員
顧問	小川 公延	
参与	中國健二郎	



## <新任理事紹介>

### 1) 江間 寛子

- ・住民協働事業「日本語教室委員会」 グローバルカフェ共同店長、日本語学習支援 M クラス所属
- ・大網白里市富田 在住

### 2) 小寺 葉子

- ・住民協働事業「日本語教室委員会」 グローバルカフェ共同店長、日本語学習支援 M クラス所属
- ・大網白里市富田 在住

### 3) 小笠原 資子

- ・日本語学習支援 M クラス所属
- ・大網白里市大網 在住

### 4) 鈴木 百合子

- ・たのしい日本語教室教師、たのしい日本語教室委員会副委員長
- ・大網白里市みどりが丘 在住

## <令和2年度新任役員の紹介>

専務理事 福島一昭



### 一専務理事を仰せつかって一

本年4月から、当協会の専務理事を担当させていただくこととなりました福島一昭と申します。諸先輩方が長い間築いてこられた伝統と歴史を持つ当協会の重要な役目が果たせるか不安でいっぱいですが、先輩の皆様方に教えをいただきながら、できる範囲で精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本年度の協会活動は、コロナウイルスの出現により、これまでの活動が予定どおりにできない厳しい状況にあります。その中で、まずは7月から「たのしい日本語Aクラス」「同Bクラス」がスタートしましたが、今のコロナ禍の中で協会としてできることは何かと皆で協議し、新たな施策として、プロジェクトチームを組成し、協会独自の協会ロゴマーク入りの布マスクを作製することとしました。



使い捨てでなく、布マスクとしたのは、会員の皆さんをコロナウイルスから守るとともに、洗濯して繰り返し使えることで環境保全にも資すること、また、会員が同じロゴマーク入りマスクを着用することで会員同士の一体感の醸成を図ることに配慮したためです。

マスクは、写真のように素敵な仕様となっており、協会のPRにも大いに役立つものと期待しています。取り敢えず7月中に50枚を作製し、協会事業運営及び日本語教室等のボランティアとして協会活動に直接参加する会員の方々に配布を予定していますが、他会員の皆様も、是非、このマスクを購入し着用して頂き、コロナに打ち勝つ多文化共生推進活動を展開していきましょう。



マスクの活用及び購入等詳細については、プロジェクトチームまでお問い合わせ下さい。

\*\*\*\*\*

たのしい日本語教室委員会 副委員長

理事 鈴木 百合子

### 一生活者としての外国人の方々に支援を一

本年度より、大網白里市国際交流協会の『たのしい日本語教室』で日本語講師を担当させていただきます、鈴木 百合子と申します。現職では技能実習生に入国後講習として、日本語や日本文化、日本での生活のルールなどを教える仕事に就いております。微力ながら、今までの経験を活かし、当協会の皆様や市内在住の外国人の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



日本国内に在住する外国人の増加を受けて、大網白里市においても多文化共生推進プランが策定されてさまざまな取り組みがなされています。当協会の日本語教室でも日本語の習得だけでなく、生活者としての外国人の方々の生活上困っていることの相談や、行政情報の提供、日常生活の習慣や規則などを活動に盛り込んでいきたいと考えております。

そして、新型コロナウイルスという全世界が立たされたこの苦境に向き合うべく、日本ならではの『新しい生活様式』なる感染防止の生活習慣を母国に伝えていただき、一日も早くウイルスの感染拡大の収束と終息を願っております。

私たちの国際交流の活動は、ボランティア精神に基づく在住外国人の皆様への生活支援であることと同時に、互いの文化や価値観の違いを認め合い、自分の視野をも広げる大変有意義な活動です。そのような交流の場へ大網白里市や近隣在住の若い世代の方々やお子さんたちにも広くご参加いただき、外国人の方々との交流を深めていただけたらと思っております。



## <令和2年度行政提案型住民協働事業について>

大網白里市国際交流協会 会長 田村 隆文

初めに、当協会が実施してきた日本語支援Sクラス、日本語支援Mクラス及びグローバルカフェの運営事業については、本年4月から事業年度が3年間の予定で令和2年度行政提案型住民協働事業として採択されましたので報告しておきます。

昨年大網白里市が公募した「令和2年度実施大網白里市住民協働事業」の募集要綱に、行政提案型住民協働事業「日本語教室の運営」が公募されました。応募の要件として『大網白里市国際交流協会が独自（ボランティア）で運営しているような日本語教室「日本語支援Sクラス」及び「日本語支援Mクラス」を住民協働事業により実施する。』と明記し広く公募されました。



当協会では、本市の多文化共生推進施策プラン 施策メニュー「コミュニケーション支援」の一環として、平成29年度（2017年度）より「日本語支援Sクラス、日本語支援Mクラス及びグローバルカフェ」の3事業を開設し、在住外国人に対する「日本語学習の支援等」を実施してきましたが、これらの事業は大網白里市教育委員会生涯学習課との行政提案型住民協働事業とすることにより、更に公益性の高い事業として発展強化される

と思料して提案書を作成、応募しました。

提案書は、書類審査を通過後、5名の外部有識者により構成された審査委員会に対する公開プレゼンテーションで一定の評価を経て採択されました。応募要件として、市から補助金が交付されることから、既存の補助団体である当協会から独立した組織を設立することが要求されましたので「日本語教室委員会」を設立し、上記の3事業を移管することとしました。本事業は大網白里市多文化共生推進協議会施策プランの一環として今後も当協会からの全面的な支援が必要とされています。



この事業移管の効果としては、市との協働事業となることにより、補助金交付、広報及び人的支援等が得られ、日本語支援クラスの更に充実したカリキュラムの編成やグローバルカフェ活動の活性化が見込まれると共に、より安定的な運営と公益性の高い事業となることが期待されます。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの感染防止・拡大抑制のために本年3月から全事業の休止をしておりましたが、「緊急事態宣言」の解除により、国際交流協会が運営する「たのしい日本語教室」は7月から再開しております。行政提案型住民協働事業が運営する「日本語支援Sクラス、日本語支援Mクラス」は9月から再開予定です。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



# 令和 2 年度事業計画 Our activity plan for the fiscal year of 2020

令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス (COVID19) の急速な感染拡大に伴い、4 月 16 日に国の「緊急事態宣言」が発令されました。「緊急事態宣言」は、その後 5 月 25 日に全面的に解除されましたが、当協会では、当面の間、国や県・市町村の感染拡大防止等の指導や指針に留意しながら、「多文化共生委員会」、「交流委員会」、「研修委員会」「広報委員会」、及び「たのしい日本語教室委員会」の 5 委員会体制にて、大網白里市多文化共生推進プラン施策メニューの実現に寄与することを目指し、下記の諸事業を展開して行く方針です。

## 1) 多文化共生委員会 (Multicultural Society Committee)

- ① 多文化共生推進プラン施策メニュー実施評価と協働推進活動の展開
- ② 「グローバルカフェ OSIFA」の原則月 1 回開店継続支援
- ③ 市総合防災訓練参加と外国人支援
- ④ 大網白里市住民協働事業「日本語教室委員会」支援

Global Café OSIFA



## 2) 交流委員会 (Interchange Committee)

- ① 城西国際大学 (JIU) 留学生との交流会活動  
\*外国人留学生の入国の見通しが立たず、開催の実現は厳しい状況です。
- ② 国際食文化交流会  
\*例年 1 月に開催していますが、コロナ禍の状況下、現状では、見通しが立たない状況です。

## 3) 研修委員会 (Training and Study Committee)

- ① 講演会  
例年実施していた市バスによる国内移動研修を止め、近隣の大学の教師による講演会を企画します。
- ② 他市国際交流協会の視察と意見交換
- ② 英会話教室 (教育委員会所属 ALT による)  
木曜クラス (第 1・2・3・4 木曜日)  
金曜クラス (第 1・2・3・4 金曜日)  
当英会話教室のメンバーには、日本語教室等他事業へのボランティアとしての積極的参加を促しています。コロナ禍の為、教室の再開は、9 月以降となる見込みですが、各教室では新規参加者を募集します。

## 4) たのしい日本語教室委員会 (Pleasant Japanese Classes Committee)

- ① 公民館事業としての「たのしい日本語教室」月 2 回、第 1 土曜日と第 2 土曜日に開講。
- ② 行政提案型住民協働事業日本語教室委員会により実施される「日本語支援 S クラス」(第 3 土曜日に開講)。更に、外国人参加者と日本人学習支援者が対話を通して日本語とコミュニケーションを学ぶ場としての「日本語支援 M クラス」(第 4 土曜日に開講)への支援。  
\* 日本語教室の詳細については、下記 QR コード(2)にて「たのしい日本語教室」(Japanese Class)を読み込んでください。日本語、英語及び中国語にてカリキュラム、時間、場所等が詳しく説明されています。(Read following QR code (2) to get the details of Japanese Classes in Japanese, English and Chinese.)

## 5) 広報委員会 (Public Relations Committee)

- ① 広報誌「つばさ」(年刊誌)の発行
- ② 協会ホームページの刷新と機能強化

URL: <http://osifa.jimdo.com>



(1) OSIFA HP



(2) OSIFA Japanese Classes



# 令和元年度実施事業 Our activities in the fiscal year of 2019.

## 1) 多文化共生委員会 (Multicultural Society Committee)

- ① 日本語教室運営、日本語指導者の確保等支援活動
- ② グローバルカフェ OSIFA 8回開店。来訪者延 294 人、外国人来訪者 59 名  
(新型コロナウイルス感染症対策による「緊急事態宣言」の為、令和2年1, 2, 3月は休店としました。)
- ③ 訪日教育旅行生ホームステイ  
令和元年5月13~14日 6名の台湾からの中高生を3家族にて受入れ。
- ④ 城西国際大学留学生ホームステイ  
令和元年6月8~9日 8名の留学生を4家族にて受入れ。
- ⑤ 大網白里市多文化共生推進協議会  
8月13日(火)に開催された協議会に3名の委員が参加。



## 2) 交流委員会 (Interchange Committee)

- ② 城西国際大学留学生との交流会  
令和元年(2019)11月9日(土)実施。
- ③ 国際食文化交流会  
令和2年(2010年)1月26日(日)  
中央公民館講堂にて開催。



## 3) 研修委員会 (Training and Study Committee)

- ① 国内移動研修  
7月10日(水)東京、台場の「日本科学未来館」と  
愛宕山の「NHK放送博物館」を見学
- ② 英会話教室(教育委員会所属ALTによる)  
木曜クラス、金曜クラス



## 4) 日本語教室委員会 (Japanese Classes Committee)

公民館事業「たのしい日本語教室」  
毎月2回 第1、第2土曜日に開催  
日本語支援Sクラス 第3土曜日  
日本語支援Mクラス 第4土曜日



## 5) 広報委員会 (Public Relations Committee)

- ① 広報誌「つばさ23」(年刊誌)の発行
- ② ホームページの更新維持

## 叙勲 田村隆文会長

大網白里市国際交流協会 田村隆文会長は、令和元年秋の叙勲において瑞宝双光章を受章しました。永年の国土交通行政事務功労によるもので、12月11日（水）に国土交通大臣より勲記・勲章の伝達を受け、その後、皇居へ参内し、天皇陛下に拝謁しました。



田村会長、おめでとうございます。

金坂昌典大網白里市長（右）を訪問し、  
受章報告する田村会長（左）

### \*\*\* 語学講座 Language Classes \*\*\*

講座名	レベル・内容	曜日	時間	場所
「たのしい日本語」 初級クラス A	初めて日本語を学ぶ人への会話、 読み書き	第1 土曜日 第2 土曜日	9:30 ~ 11:00	中央公民館 2F 講義室
「たのしい日本語」 初級クラス B	初歩的日本語の会話、読み書き	第1 土曜日 第2 土曜日	11:00 ~ 12:30	中央公民館 2F 講義室
日本語支援 S クラス (住民協働事業)	初級クラスの補習、ていねいな言葉敬語、業務用語、業務用会話等	第3 土曜日	11:00 ~ 12:30	中央公民館
日本語支援 M クラス (住民協働事業)	初級から上級まで、1:1 対話方式	第4 土曜日	11:00 ~ 12:30	中央公民館
英会話教室	木曜クラス	毎週木曜日 Ex. 第5木	14:00 ~ 16:00	中央公民館 2F 講義室
英会話教室	金曜クラス	毎週金曜日 Ex. 第5金	14:00 ~ 16:00	中央公民館 2F 講義室

- 注) ① 「たのしい日本語」及び「日本語支援クラス」の受講資格は、大網白里市在住者、又は在勤者に限定されます。
- ② たのしい日本語教室は、大網白里市公民館事業として当協会が運営し、日本語支援 S クラスと M クラスは、大網白里市住民協働事業として日本語教室委員会が運営しています。
- ③ 日本語支援クラス受講者は、1回につき 300 円（教材費、維持費等）を負担して頂きます。
- ④ 英会話教室の受講資格者は、大網白里市国際交流協会会員であり入室審査合格者に限定されます。受講料は無料ですが、別途、協会事業へのボランティアとしての参加を義務づけています。
- ⑤ 英会話教室木曜クラスと金曜クラス両クラスの掛持ち受講はできません。

## 会員を募集しています!! Join us and be a member!!

大網白里市国際交流協会は、国際交流活動、多文化共生推進活動を通じて、在住外国人と共に世界に開かれた地域づくりと、大網白里市の基本理念「住みたい住み続けたいまち」づくりへの貢献を目指しています。具体的な活動は、下記の5つの専門委員会が企画する行事に参加することです。是非、入会し、地域づくり、まちづくりを楽しんでください。

### \* 専門委員会の主な活動 Main activities of the committees

#### 【多文化共生委員会 Multicultural Society Committee】

- ・市と共に「多文化共生推進協議会」を構成し、多文化共生推進プラン施策メニューを実施推進します。
- ・在住外国人を含むすべての市民との交流の場「グローバルカフェ」を運営支援します。

#### 【交流委員会 Interchange Committee】

- ・城西国際大学留学生との交流会を開催します。
- ・地域在住の外国人との国際食文化交流会を開催します。

#### 【研修委員会 Training and Study Committee】

- ・バスによる国内移動研修旅行を企画実行します。
- ・城西国際大学留学生や海外からの教育旅行生のホームステイ受け入れをします。
- ・英会話教室の運営管理を行います。

#### 【広報委員会 Public Relations Committee】

- ・広報誌発行とホームページを維持管理します。

#### 【たのしい日本語教室委員会 Pleasant Japanese Classes Committee】

- ・大網白里市在住の外国人のための日本語教室を運営します。

### \* 年会費 Annual Membership Fee

- ・日本人個人会員 Japanese individual membership 2,000 円
- ・家族会員 (2人以上) Family membership (Two or more) 3,000 円
- ・外国人会員、学生会員 Foreign or student membership 1,000 円
- ・団体会員 Group membership 5,000 円

### \* 入会申込・問合せ Application and/or inquiry for membership.

大網白里市教育委員会生涯学習課内 大網白里市国際交流協会事務局  
Secretariat, OamiShirasato International Friendship Association  
c/o Lifelong Learning Division, Board of Education  
☎ 0475 70 0380 E-mail:gakushu@city.oamishirasato.lg.jp

編集後記：今年2月からの急速な新型コロナウイルス感染拡大に伴い、人と人との交流を柱とする協会活動に急ブレーキが掛かり、1月のビッグイベント国際食文化交流会が終わると殆ど活動停止の状態になってしまった。新年度の総会は、1994年6月の協会創立以降初めての書面決議となったが、第27回総会であった。「つばさ」は、協会創立年に第1号が発行された年刊誌であり、本誌「つばさ24」は24号目である。あれ！計算が合わない！どうやらいつか休刊があったらしいと気がついた。しかし、今年もなんとか発刊に漕ぎ着けた。やれやれと言った感じで、今は、一日も早いコロナ禍の終息を望むばかりです。 広報委員会 編集部